

一般質問

子育て支援について

クラブの適切な運営を考慮した対応を！

山崎議員 市内の児童数が減少しているなかで、放課後児童クラブの利用者が増加していることを考慮したとき、七尾市にある19の放課後児童クラブ全体のあり方を行政としても総合的に検討していく必要があると考えるが、見解はどうか。また、来年度、小学校の統廃合により小学校区が変わるが、放課後児童クラブについては、利用者のニーズを考慮して存続させるのか。

不嶋市長 来年4月に小学校が統合されることに伴い、児童あるいは保護者の利便性を考え、徳田小学校区では放課後児童クラブを新しい朝日小学校内に設置し、高階小学校区では高階小学校内の放課後児童クラブと朝日小学校内の放課後児童クラブとを選ぶことが出来るようにしたい。有機小学校区については、放課後児童クラブを大呑保育園に移転することを検討しており、当分の間は統合前の学校区内にも放課後児童クラブを設置しておく考えである。また、現在、市が設置している放課後児童クラブに加え、市内の社会福祉法人が自主的に運営している4つの放課後児童クラブの取り扱いについては、所定の手続きをさせていただき、新たに委託する方向で新年度以降検討していく考えである。

【その他の質問項目】  
■市内企業の事業拡大



山崎 智之 議員 (灘会)



市内の放課後児童クラブ

一般質問

七尾市まち・ひと・しごと創生総合戦略について

総合戦略の現在の達成状況は!?

桂議員 七尾市の「まち・ひと・しごと創生」の総合戦略計画があつて、3年が経とうとしている。当初掲げた①子育て支援、②仕事をつくる、③人の流れをつくる、④時代にあつた地域づくりをする、この4つの柱の現在の達成率はどうなっているのか。また、どのように人口動態が変わってきたのか。そして、戦略の見直しの必要性について、見解を伺う。

不嶋市長 平成28年度の七尾市総合戦略のKPIの達成状況としては、おおむね市が定めた総合戦略の目標において、高い達成率で推移していると理解している。人口動態では、国勢調査から国が推計した平成29年10月時点の人口は、52,633人と言われていたが、実際は53,841人と、1,208人の上乗せがあり、平均寿命の延びや出生率の伸び、新幹線効果、創業支援、移住定住の施策などの効果が上がってきているのではないかとと思う。また、市としては、総合戦略に掲げる施策をしっかりと進めていき、順調に達成できるような後も施策の充実を図っていく。見直しについては、新たにどうか今は考えていない。現在策定中の第2次総合計画のなかにもしっかりと反映させ、市民にとって快適な生活空間を作り、一人一人が活躍できる七尾になるよう努めていきたい。



桂 徹男 議員 (灘会)



総合戦略

一般質問

認知症患者への配慮について

認知症患者主体の相談窓口を！

山添議員 これまで認知症患者について議会質問してきたが、認知症患者にとっては受け身となる内容であった。ところが近年、仙台市の「おれんじドア」という取り組みを契機に、認知症患者が主体となって取り組む事例が全国的に増えている。認知症患者の相談に認知症患者が応える物忘れ相談窓口といったものや、行政の関連機関がサポートして、患者による相談窓口を設けているものもある。七尾市でも、当事者が主体的に取り組む相談窓口を設ける考えはないのか。

津田健康福祉部長 認知症患者自身が悩んでいる患者の相談に応じる窓口は、孤立や閉じこもりがちな患者にとっては、とても貴重な場と考えている。七尾市では現在、地域や介護事業所での認知症カフェの立ち上げ支援を行っている。まず、この認知症カフェを生かして、認知症と診断され不安を抱えている人が一人でも多く参加できるように促していきたい。初期段階の認知症の方に相談の受け手となつていただければ、働きかけ、認知症患者が社会参加のきっかけづくりとなり、誰かの役に立てる喜び、生きがいを持って生活できるサポートに取り組んでいく。

【その他の質問項目】  
■期日前投票  
■子ども図書館  
■校長会での懇談  
■小水力発電



山添 和良 議員 (未来)



市内の認知症カフェ